

西宮市オリジナル植物による被災地復興支援事業 ～ オリジナル桜 南三陸町への送り出し ～

平成24年より実施している「西宮市オリジナル植物による被災地復興支援事業」について、この度、宮城県南三陸町に植栽するための桜を送り出します。

【日時】

令和3年3月15日（月） 10時～

【出発場所】

植物生産研究センター花工房（鳴尾浜2丁目1-8） Tel (0798) 43-3321

【次第】

- 1) 西宮市挨拶 予定：北田副市長
- 2) ライオンズクラブ挨拶
- 3) 出発

【送り出す樹木】

- ・西宮権現平桜（にしのみやごんげんだいらざくら） 17本
 - ・夙川舞桜（しゅくがわまいざくら） 10本 計27本
- （※高さ3m前後）

【参加者】

ライオンズクラブ 10名程度（予定）

西宮市

- ① 北田副市長、植松土木局長、伊藤公園緑化部長
- ② 掛田特別顧問
- ③ 花と緑の課（藤原、平井、船越）、花工房職員

①公用車：本庁9時発

②直接花工房へ

③公用車：9時15分着

※新型コロナ対策のため、桜の育成にご協力いただいた市民ボランティアに声掛けはしません。

○樹木の積み込み等

- ・当日、9時15分に南三陸町への運搬車両（4t車。金田運輸）が花工房に到着
- ・運搬車両に市内造園業者が桜を積み込む
- ・記念銘板（LC製作。石材）も併せて積み込む（竹下石材店）

■ 参考：記念植樹式

- ・令和3年5月21日（金） 14:00～

宮城県 南三陸町 震災祈念公園（予定）で、南三陸町主催で実施予定
ライオンズクラブ、西宮市からも出席予定

西宮市オリジナル植物による被災地復興支援事業

【概要】

「西宮市オリジナル植物」を東日本大震災被災地（宮城県女川町、南三陸町）に贈り、花と緑による心の支援・まちづくりの支援活動を行っています。

事業は西宮市内ライオンズクラブ（平成24年度は8団体でスタート、令和2年度現在 5団体）と西宮市が協働で実施します。

【これまでの事業内容、実施時期および数量等】

- ・‘ゆめむらさき’プランター寄せ植えの提供

ゆめむらさき’のプランター寄せ植えを贈りました。

‘ゆめむらさき’は平成7年 阪神・淡路大震災の年に西宮市が開発し、この名前には市民からの公募により「震災の悲しい年に生まれたこの花に、明日への夢と希望を託して…」という思いが込められています。

⇒ 平成24年5月31日 各町に50基、計100基を贈呈

- ・サクラについて

‘西宮権現平桜’‘夙川舞桜’を贈り、復興のシンボル・西宮市との友好の証として再生したまちなみに植えます。

<女川町>

⇒ 平成29年3月26日（日） 女川町へ桜の送り出し

西宮権現平桜（にしのみやごんげんだいらざくら） 10本

夙川舞桜（しゅくがわまいざくら） 13本 計23本

⇒ 平成29年5月9日（火）植樹式（女川町主催で実施）

女川町 鷲神公園（わしのかみこうえん）14:00～

参加者：ライオンズクラブ、西宮市

【役割分担】

ライオンズクラブ

- ・事業の企画・広報および市民等への募金活動。
- ・資材等の調達・提供。
- ・被災地への配送・配備。
- ・事業資金の運用・管理 等。

西宮市

- ・事業の企画・広報および市民等への協力依頼（募金活動を除く）。
- ・被災地との連絡・調整。
- ・植物材料の増殖、育成管理および提供。
- ・プランター寄せ植え作製および管理 等。